

## カンデーロ (Candelo)

久しぶりにビエッラまで足を伸ばしました。と言っても、ビエッラはそれほど遠いところではありません。ノヴァーラから1時間です。ノヴァーラの乗り継ぎ時間も短く、ミラノ中央駅からビエッラ間の行きは2時間10分で帰りは1時間45分しかかかりません。ジェノヴァ方面よりも近いのです。それでもビエッラまで来ますと、近くには高い山々がそびえ、アルプスももう間近です。駅前には、名前はわかりませんが2000メートル以上の山々が迫ってきていてとてもすがすがしく感じます。この日は、朝の10時半に着いたのですが、既に、気温は19度もありセーターを着てこなくて正解でした。ビエッラから路線バスに乗り10分足らずのところ、今回の目的地であるカンデーロです。ここも、今、はまっている「最も美しい村」と「小さな街・村」の本の両方が推薦している街です。

この街の中に13-14世紀に造られたリチェットという城壁で囲まれたエリアがあります。リチェットとはシェルターのことで、日本語だと避難所との意味になりますが、所謂避難所とは明らかに違います。並んで建てられている長屋のような建物はワインと穀物を保存する倉庫なのです。その200余りある倉庫の周りにはがっちりした城壁と城塔が取り囲んでいます。何故、こんなものを造ったのかは、ここの住民が何よりも自分たちの財産であるワインと穀物を、第一に守ることを考えたからに他なりません。実際には、平和時には倉庫として使い、戦争の時は倉庫兼住民の避難所として使っていたようです。驚いたことにほとんどの倉庫も城壁も13-14世紀のままの状態で保存されています。その理由は、住民はこの建物をあくまでも倉庫として使い、今日に至るまで(避難時以外は)住居として一切使っていないからだと言われています。

カンデーロに路線バスが着きますと、停留所はドゥオモの傍でしたので、ちょっと、ドゥオモに立ち寄りました。それほど立派な教会ではありません。やはり、田舎の教会です。でも、ここにも黒いマリア様が置かれていました。やはり、このあたりは、黒いマリア様の信仰があるのだと思います。雰囲気も形もオローパの黒いマリア様とよく似ていました。不思議なもので、黒いマリア様を見ていると、神聖さを感じて信仰心が芽生えてくるような気がします。



ドゥオモから歩いて4,5分のところにリチェットがあります。この街の観光名所だけあって、道には標識がありますから、間違えることはありません。リチェットとコミュニーレ宮殿はカステッロ広場に面していて、リチェット内への唯一つの入り口もここに 있습니다。リチェットへ入る城門の直ぐ横にインフォメーションがあり、そこのお兄さんは英語がぺらぺらでした。英語の資料も用意してあり

親切にいろいろと説明してくれます。



入り口の城門をくぐるといよいよ、リチェットの中です。石で造られたがっちりした長屋が背中合わせに5,6列ずらっと並んでいて、その周りは完璧に城壁に囲まれています。インフォメーションでもらった案内の写真には、リチェット内にいっぱい観光客が写っていましたが、この日は、快晴にもかかわらず、観光客は10数人ほどでした。今は、倉庫として使われてはいませんが、もちろん、今でも人が住んでいるわけではありません。数件のお土産屋さんとレストラン、エノテカが1件と数ヶ所がアートの展示や小さなコンヴェンションに使われているようです。また、数件の倉庫は老朽化が激しいらしく、現状維持の工事或いはコンヴェンション施設への改造が行われていました。中は、観光客が少ないために静かでひんやりとしていて当時の雰囲気に入ることが出来ました。倉庫は、1階がワインの製造と倉庫で土間になっていますが、乾燥している2階は木造で穀物の倉庫に使われていたとのこと。ほとんどが、まだ見えそうながっちりとした建物です。



リチェットは小さな低い丘の上にあります。城壁の数ヶ所に歩廊がついていて、そこに上がると城壁外の世界が見渡せます。城壁や城塔には銃を撃つための穴が開いています。全て内側に末広がり穴になっていて、銃を左右180度に狙いをつけられるようになっているのです。でも、今は、敵はいませんから、なんとと言っても景色です。そんな小さな穴よりも城壁の上から眺める景色が最高です。リチェットの南側、新市街方面はコミュニーレ宮殿があり、それが城壁の代わりとなっていますが、その他は全て城壁で囲まれています。アルプスの山々は西側に見え、北側は公園となっていて川も流れる長閑な田舎の雰囲気が堪能でき、東側には古い教会があります。



ゆっくり歩いても1時間もあれば、リチェットの中の見学は終わってしまいます。城壁の外に出るとインフォメーションの横からリチェットの城壁の周りを1週できる散歩道ができています。そこを歩きながら、今度は城壁の外側からリチェットを見ることにします。春の日差しが柔らかで気分爽快の散策です。リチェットの北側の公園にアルプスの展望スポットがあり、そこにはここから見ることが出来る山々の名前と高さがボードに書いてありましたが、物覚えが悪く忘れてしまいました。でも聞いたことがある名前は書いてありませんでした。それにしても2000メートルを超えるいくつもの山々は雄大で素晴らしい絶景でした。





リチェットの東隣には、サンタ・マリア・マッジョーレ教会があります。12世紀に建てられたロマネスク建築の教会ですが、残念ながら、教会の正面はバロック形式に建てかえられています。何か、厚化粧の女性の顔を見ているようで、せつかくのロマネスクが拍子抜けです。でも、正面以外は昔のままのロマネスク建築で見飽きることがありません。特に、北側の公園からの眺めが最高でした。教会の中に入るにはガイドの予約が必要です。もちろん、そんなことは知りませんでしたので、今回は中に入るのをあきらめました。



カンデーロの街は、リチェットとサンタ・マリア・マッジョーレ教会が観光スポットです。この2つと周りの景色で十分に満足できます。今では、インフォメーションでもらった案内のように観光客

でいっぱいになることがあると信じています。また、いつものように街の中も歩きました。ところどころに街の地図があり、そこに街中にある Fresco 画が壁に描かれているポイントが示されています。これが何を意味するのかわかりませんが、それほど古いものではないようです。他の教会も訪ねてみましたが、中にはやはり黒いマリア様がありましたので十字を切ってきました。



カンデーロはビエツラ・サンパウロ駅から 5 キロくらい離れていますので、ビエツラから歩くとちょっと大変です。但し、サンティアとビエツラ間の列車で、ビエツラ・サンパウロから一駅先（ビエツラから 1.1 ユーロで 1,2 時間間隔）にカンデーロ駅があり、そこで降りると歩いて 10 分くらいでリチェットまで到着します。但し、この駅は、田舎の無人駅ですのでほとんど乗降する人はいません。帰りのチケットも購入できるかどうかわかりませんので、この列車を利用するときは往復を買っておくことをお勧めします。

ビエツラからのバスは、駅前の大きな道路沿にある停留所から土曜日でも朝は 1 時間に 1 本出ています。午後は 30 分に 1 本になります。カンデーロの街は、道が細く一方通行が多いために、行きのバスはリチェットから 1 本離れた道に停まりますが、ビエツラに戻る時はリチェットの前であるカステッロ広場の停留所から乗ることが出来ます。料金はバスも列車と同じ片道 1.1 ユーロです。ミラノ中央駅からビエツラまでは片道 6.95 ユーロです。ノヴァーラでビエツラ方面の列車に乗り換えになります。2 両編成のローカル列車は、最初の写真にあるとおり、落書きもなく窓もきれいなディーゼル列車で、乗り心地も良く、景色もよく快適です。